

戦略をどう考えるべきか

西原 正

『戦略研究の視角』（人間の科学社、1988年）

I 戦略とはなにか

- (1) 乱用される「戦略」
- (2) 軍事概念としての戦略
- (3) 軍事戦略と国家戦略、大戦略
- (4) 戦略の秘密性と間接性

II 戦略研究の二つの進め方

- 記述的戦略論
- 規範的戦略論

III 軍事戦略思想の二つの流れ

- (1) クラウゼヴィッツと孫子 決戦戦略と不戦戦略
- (2) クラウゼヴィッツが与えたインパクト
- (3) 孫子の影響
- (4) リデル・ハートと「間接アプローチ」

IV 日常生活における戦略思考：目的をいかに達成するか

- (1) 子供の戦略思考
- (2) 男女の戦略思考
- (3) ビジネスにおける戦略思考
- (4) スポーツにおける戦略思考

V 日本に国家戦略はあるのか

- (1) いくつかの例 これは国家戦略か
 - 吉田ドクトリン（軽武装、経済回復重視）
 - 非核三原則、武器輸出三原則、専守防衛、防衛費 GDP1%
 - 小泉首相：「日米同盟さえきちりしておけば対アジア外交は大丈夫」
 - 福田首相：「日米友好と日中友好を共鳴させる」
 - 安倍首相：日米豪安保協力、日米豪印連携
 - 麻生外相：「自由と繁栄の弧」構築
- (2) 誰が戦略をきめるのか
 - 首相？ 与党？ 外務省？ 防衛省？ 国民？
- (3) 「外交戦略会議」（仮称）は必要か
- (4) 国家戦略、安全保障戦略、国防戦略の整合性